

2024年度

# 通常総会議案

## 総会次第

審議事項：

- |       |                               |
|-------|-------------------------------|
| 第1号議案 | 1. 2023年度事業報告（案）<br>2. 会員数の推移 |
| 第2号議案 | 2023年度決算報告（案）                 |
| 第3号議案 | 2024年度支部役員改選（案）               |

報告事項：

- |        |                 |
|--------|-----------------|
| 報告事項1. | 2024年度事業計画      |
| 報告事項2. | 2024年度正味財産増減予算書 |

大地と語り 未来をつくる



公益社団法人 地盤工学会関西支部

〒540-0012 大阪市中央区谷町 1-5-7 スタービル天満橋 801 Tel : 06-6946-0393 Fax : 06-6946-0383 <http://www.jgskb.jp/>



## 目 次

2023年度の主な動き	-----	1
審議事項		
第1号議案	1. 2023年度事業報告(案)	----- 3
	2. 会員数の推移	----- 10
第2号議案	2023年度決算報告(案)	----- 12
第3号議案	2024年度支部役員改選(案)	----- 16
報告事項		
報告事項1.	2024年度事業計画	----- 17
報告事項2.	2024年度正味財産増減予算書	----- 20
資 料		
1.	歴代支部長・副支部長・幹事長名簿	----- 21
2.	2023年度支部役員構成	----- 22
3.	特別会員特典	----- 23
4.	関西支部特別会員名簿	----- 24



## 2023 年度の主な動き

地盤工学会は、平成 22 年（2010 年）11 月 1 日に公益社団法人地盤工学会として登記され、地盤工学の進歩や地盤工学に関わる技術者の資質向上を図るとともに、公益性を意識して活動を行うことが求められています。これを受けて、地盤工学会は、(1)学術技術の進歩への貢献、(2)技術者の資質向上、(3)社会への貢献の 3 つの目的を掲げて活動しています。この目的に沿うべく、関西支部では 2023 年度に以下の活動を行いました。

### (1) 学術技術の進歩への貢献

- ・ 研究委員会活動
  - ・ 夢洲の地盤性状と沈下性状に関する研究委員会（継続）
  - ・ 斜面災害リスク軽減のための 4D 多層型ハザードマップの構築とその利活用方法に関する研究委員会（継続）
- ・ 地域地盤研究会（福井・滋賀）

### (2) 技術者の資質向上

- ・ 総会時特別講演会（4/26 開催）
- ・ 令和 5 年度施工技術報告会（2/15 開催）
- ・ 大阪メトロ中央線延伸「夢洲駅」（北港テクノポート線整備工事）現場見学会（8/22 開催）
- ・ 地盤工学のためのデータサイエンス基礎講座（2/1 開催）
- ・ 第 14 回若手セミナー（11/16 開催）
- ・ 第 65 回実技セミナー（6/6 開催）
- ・ *Kansai Geo-Symposium 2023* — 地下水地盤環境・防災・計測技術に関するシンポジウム—（11/3 開催）
- ・ 表彰事業（地盤工学会関西支部賞）

### (3) 社会への貢献

- ・ 出前授業 計 6 回
- ・ 市民特別講演会（1/27）
- ・ ふるさと地盤診断ウォーク 計 2 回

### (4) その他

- ・ 令和 6 年能登半島地震 福井県内災害調査（関西地区 災害時における調査等の相互協力に関する協定に基づく調査団として）（1/23 現地調査実施）

新型コロナウイルスの感染症の5類移行に伴い、幹事をはじめとした関係各所の対策を継続しつつ、ほとんどの行事は従来の対面形式にて実施することができました。一方で、参加者の利便性を考慮し、可能な行事についてはオンライン形式を併用したハイブリッド形式を継続しております。

斜面災害のリスク低減および夢洲の地盤工学的課題の解決に関連した委員会活動を進めるとともに、地盤災害防止や設計・施工に関連する行事を数多く実施し、好評を得たことが本年度の活動の特徴と言えます。夢洲の地盤工学的課題の解決に向けて設置された研究委員会は、地盤構造の不均質性や下部洪積層の沈下等の問題の解明、対策方法の提案等に取り組んでおり、学術的な観点から事業の円滑な実施に貢献することが期待されます。また、継続的に研究されてきた斜面災害リスク低減に関する提案を実行に移すべく、新たなハザードマップの構築と活用方法について実践を交えた研究活動を行っています。

若手の技術者や研究者が十分な専門知識を身に受けられるよう、地盤工学の基礎をテーマ毎に学べる機会を提供する場として、平成27年度に企画を一新した「若手セミナー」は、本年度もベテラン技術者と若手の融合を目的とした形態で実施し、多数の参加者から好評を頂きました。この他にも、地盤工学におけるデータ解析の基礎的な事項について学ぶことができる基礎講座、土質試験の方法と結果の活用を学ぶ第65回実技セミナーを開催し、技術者や研究者の資質向上に供することに努めてきました。また、若手セミナーを含む各種行事の開催報告をホームページに掲載し、活動成果の公表を積極的に進めました。

「地盤の環境・計測技術に関するシンポジウム」のテーマを拡張する形で、平成25年度から開催された Kansai Geo-Symposium は11回目を迎えました。本年度は、オンラインと対面のハイブリッド形式で開催し、132名の参加者を得ました。Kansai Geo-Symposium は産官学の研究者と技術者が研究発表を行い、互いの技術力向上をはかるプラットフォームとして、関西支部の一大イベントとして位置づけられています。

以上のように、関西支部では、多様な企画を実施することにより、会員サービスの拡充を図っているところです。今後とも関係各位の一層のご支援とご協力をお願い致します。

## 第1号議案 2023年度事業報告（案）

### 1. 2023年度事業報告（案）

#### 1. 1 一般行事報告

2023年度は次のような行事を実施した。

講演会	1回	報告会	1回
講習会	1回	若手セミナー	1回
見学会	1回	実技セミナー	1回
シンポジウム	1回		

それぞれの詳細は以下に記載するとおりであり、ご協力を賜った関係各位に厚く御礼申しあげる。

#### 【1】講演会

##### ①総会時特別講演会

日 時：2023年4月26日（水）16:00～16:50

会 場：ドーンセンター ホール（オンライン配信あり）

内容と講師：「大阪・関西万博」

東川 直正（（公社）地盤工学会関西支部 2022年度支部長）

参加人数：83名

#### 【2】報告会

令和5年度施工技術報告会「最近の建設・保全・環境技術と施工事例」

日 時：令和6年2月15日（木）13:30～16:50

会 場：建設交流館 8F グリーンホール

報告件数：5件

内容と講師：

開会挨拶 北岡 隆司（（一社）日本建設業連合会関西支部 支部長）

技術報告発表

##### ①「近接構造物への影響に配慮したシールドおよび中間立坑の施工」

－北大阪急行延伸事業のうち土木工事－

與良 祐司（（株）熊谷組 関西支店 北大阪急行線延伸シールド作業所）

##### ②「国内初となる災害現場における砂防堰堤自動化施工」

－赤谷3号砂防堰堤工事－

森田 真幸（鹿島建設（株） 関西支店 赤谷工事事務所）

##### ③「環境に配慮した中性固化材を用いた地盤改良」

－新名神高速道路 高槻高架橋東（下部工）工事－

鈴木 孝幸（（株）錢高組 なにわ筋線西本町駅作業所）

##### ④「架設機を使用したHSPJ床版架設工事」

－阪神高速道路3号神戸線リニューアル工事－

佐藤 研史（清水建設（株） 関西支店 土木部）

##### ⑤「困難な条件下における国内初の超大断面トンネル型減勢工の建設」

－天ヶ瀬ダム再開発トンネル減勢池部建設工事（Ⅰ～Ⅲ期）－

村上 正一（（株）大林組 大阪本店 田並川橋工事事務所）

閉会挨拶 深川 良一（（一社）日本建設機械施工協会関西支部 支部長）

参加人数：76名

### 【3】講習会

地盤工学のためのデータサイエンス基礎講座

日 時：2024年2月1日(木) 13:30～19:00

会 場：ドーンセンター 大会議室 (Zoomによるオンライン併用)

内容と講師：

開会挨拶

地盤工学に役立つデータサイエンスの基礎① 藤澤 和謙 (京都大学)

地盤工学に役立つデータサイエンスの基礎② 珠玖 隆行 (岡山大学)

演習 藤澤 和謙・珠玖 隆行

閉会挨拶

交流会

参加人数：43名

### 【4】若手セミナー

第14回若手セミナー

日 時：2023年11月16日(木) 14:00～18:30

会 場：ドーンセンター 大会議室 (Zoomによるオンライン併用)

内容と講師：

開会挨拶

講演「古生代のダム基礎岩盤との対話」 原 稔明 (いであ(株)・元水資源機構)

グループ討議話題提供「土木構造物に関するトラブル事例と学び」

祝 賢治 (元徳島文理大学)

閉会挨拶

交流会

参加人数：12名

### 【5】見学会

大阪メトロ中央線延伸「夢洲駅」(北港テクノポート線整備工事)

日 時：2023年8月22日(火) 13:15～14:30

会 場：北港テクノポート線整備工事現場「夢洲駅」

内 容：

事業概要・施工方法についての説明、現在の施工状況の説明

現場見学 開削工事施工箇所及び駅舎内部を見学

質疑応答

参加人数：18名

### 【6】実技セミナー

第65回実技セミナー 「地盤工学入門 土質試験の方法と結果の活用」

日 時：2023年6月6日(火) 10:00～17:00

会 場：関西地盤環境研究センター

内容と講師：

(講義) 土質試験の概要

松川 尚史 (関西地盤環境研究センター)

試料 押し出し・観察	遠藤 暢 (関西地盤環境研究センター)
繰返し三軸試験の概説 液状化・変形特性試験について	鈴木 剛 (関西地盤環境研究センター)
土質試験結果の活用例	八谷 誠 (関西地盤環境研究センター)
(演習) 物理試験 (物理試験の概要および液性・塑性限界の実習)	三好 功季 (関西地盤環境研究センター)
材料試験 (締固め試験の概要および実習)	西野 真海 (関西地盤環境研究センター)
力学試験 (一軸圧縮試験の概要および実習)	服部 健太 (関西地盤環境研究センター)

参加人数 : 16名

### 【7】シンポジウム

Kansai Geo-Symposium 2023 ー地下水地盤環境・防災・計測技術に関するシンポジウムー

日時 : 2023年11月3日 (金) 9:00~18:00

会場 : 関西大学 100周年記念会館 (Zoomによるオンライン併用)

内容 :

開会挨拶	芥川 真一 (地盤工学会関西支部 支部長)
	大島昭彦 (地下水地盤環境に関する研究協議会)
基調講演「長大な土構造物を見守る新たな眼~河川堤防や路面下空洞を対象とした調査・観測技術の研究~」	森 啓年 (山口大学)

セッション1 : 地下水流動・地中熱	座長 : 北岡 貴文 (関西大学)
セッション2 : 「斜面災害リスク軽減のための4D多層型ハザードマップの構築とその利活用に関する研究委員会」特別セッション	座長 : 鳥居 宣之 (神戸市立工業高等専門学校)
セッション3 : 耐震・防災・減災	座長 : 野並 賢 (神戸市立工業高等専門学校)
セッション4 : 防災・地下水地盤環境	座長 : 乾 徹 (大阪大学)
セッション5 : 室内/現場試験・調査・施工技術・現場計測技術	座長 : 小山 倫史 (関西大学)
セッション6 : 「夢洲の地盤性状と沈下性状に関する研究委員会」特別セッション	座長 : 大島昭彦 (大阪公立大学)

参加人数 : 132名

## 1. 2 委員会・研究会報告

### 【1】研究委員会

#### ① 夢洲の地盤性状と沈下性状に関する研究委員会

目的等 : 大阪ベイエリアに位置する夢洲は、大阪万博や統合型リゾートの用地として今後建設事業の増加が見込まれているが、その極めて複雑な地盤構造に起因し様々な工学的課題を有している。例えば、地盤構造の不均質性や下部洪積層の沈下等の問題は、今後の各種構造物の設計や施工に大きく影響するものであることから、迅速かつ確実に事業を実施するためにも、産学官の知識と技術を集結し早急に解決する必要がある。そこで本委員会では、産学官で横断的にメンバーを募集し、上記事業の円滑な実施の一助となるべく、1) 過去

の埋立て履歴や既存データの整理、2) 現場試験の実施と評価、3) 地盤構造のモデル化、4) 地盤情報に基づく沈下予測、等を行った。

全体会合3回を開催し、活動方針と現有成果の共有を行い活発な議論を行った。

委員長：大島 昭彦（大阪公立大学）

委員数：49名

開催回数：全体会議3回、幹事会1回

## ② 斜面災害リスク軽減のための4D多層型ハザードマップの構築とその利活用方法に関する研究委員会

目的等：近年の豪雨や地震によって毎年のように斜面災害による人的被害が発生している。このような問題の解決を目指して、これまで地盤工学会関西支部の調査研究委員会が継続的に研究され、斜面災害のリスク低減に関する提案がなされてきた。その提案を実行する形で斜面災害リスク軽減のための新たなハザードマップとしての「4D多層型ハザードマップ」の構築とその利活用方法について研究するための研究委員会を立ち上げた。具体的な研究活動としては、1) マップに掲載する現地計測データの検討と収集（Keywords：モニタリング技術、データマイニング、IoT など）、2) 計測データやシミュレーション結果に基づく斜面危険度評価方法の検討（Keywords：モニタリング、シミュレーション技術、斜面危険度評価手法、AI など）、3) マップの利活用・教育・普及方法の検討（Keywords：情報発信技術、防災教育、市民参加型モニタリング など）について最新の情報を共有し、実践を交えた研究活動を開始している。本年度は、現地計測データ検討部会、斜面危険度評価方法検討部会、HMの利活用検討部会の3つの部会に分かれて活動を進め、全体委員会での調整や議論を活発に進めた。

委員長：鳥居 宣之（神戸市立工業高等専門学校）

委員数：43名

開催回数：全体会議：3回、幹事会：1回、各部会：9回

## 【2】地域地盤研究会

### ①福井地域地盤研究会

目的等：福井地域の地盤に関する研究推進や人的交流を一層深め、福井地域内の活動をより活発にするため、計2回の講演会を実施した。これら講演会は、福井県建設技術公社との共催、NPO 福井地域地盤防災研究所の後援を受けている。

委員長：荒井 克彦（福井大学名誉教授）

委員数：100名

開催回数：2回 2023年8月1日(火) 第88回福井地域地盤研究会（講演会）  
2024年1月30日(火) 第89回福井地域地盤研究会（調査報告会）

### ②和歌山地域地盤研究会（休止中）

### ③滋賀地域地盤研究会

目的等：滋賀地盤講演会、定例勉強会、見学会等を実施することにより、滋賀地域の地盤に関する研究推進や人的交流を一層深め、滋賀地域内の活動を活性化することを目的とする。2021年度はコロナウィルス感染等の影響はあったが、関西地質調査業協会滋賀支部の共

催および滋賀県法面処理協会の後援を得て、対面型で1回の滋賀地盤講演会を開催することができた。

委員長：深川 良一（立命館大学）

委員数：22名

開催回数：1回      2023年9月20日(水)      第36回滋賀地盤講演会

### 【3】地盤工学広報企画委員会

目的等：関西支部地域に在住する一般市民や小・中・高校生を主たる対象とし、土や地盤に関連する様々な事柄について興味と関心を持ってもらい、地盤工学に関する関心を高めることにより社会貢献を行うことを目的に、種々の活動を行った。また、ホームページ上で広報企画委員会の予定行事のお知らせと参加募集、行事实施報告の掲載と適宜更新などを行った。

委員長：野並 賢（神戸市立工業高等専門学校）

委員数：13名

開催回数：委員会（4回）、幹事会（2回）、ふるさと地盤診断ウォーク（2回）、出前授業（6回）、市民特別講演会(1回)

#### 「ふるさと地盤診断ウォーク」

①日 時：2023年11月18日(土) 9:30～14:00

行き先：生駒コース

講師：竹村恵二（京都大学名誉教授）、北田奈緒子（GRI財団）

参加人数：10名

②日 時：2023年12月2日(土) 9:30～15:00

行き先：枚方丘陵コース

講師：松岡数充（長崎大学名誉教授）、北田奈緒子（GRI財団）

参加人数：12名

#### 「出前授業」

①実施日時：2023年5月19日(金) 15:30～16:55

出前先：大阪キャッスルホテル（大阪市中央区）

受講者：日本補償コンサルタント協会近畿支部総会参加者 約80名

授業題目：京都地下に眠る千年の水脈

講師：楠見晴重（関西大学教授）

②実施日時：2023年5月30日(火) 14:55～16:25

出前先：京都ノートルダム女子大学（京都市左京区）

受講者：「環境教育」の受講学生13名

授業題目：三歳児から大人まで、泥だんごを両手で体感科学

講師：水野克己（地域地盤環境研究所）

③実施日時：2023年10月30日(月) 8:45～15:30

出 前 先：池田市立呉服小学校（大阪府池田市）  
受 講 者：池田市立呉服小学校 6 年生 約 90 名  
授業題目：大地のつくりと変化  
講 師：鍋島康之（明石工業高等専門学校教授）

④実施日時：2023 年 12 月 6 日（水）10:20～12:40  
出 前 先：八尾市立亀井小学校（大阪府八尾市）  
受 講 者：八尾市立亀井小学校 5 年生 96 名  
授業題目：大地のつくり  
講 師：鍋島康之（明石工業高等専門学校教授）

⑤実施日時：2023 年 12 月 22 日（金）14:00～15:15  
出 前 先：パストラルール尼崎（介護付有料老人ホーム、兵庫県尼崎市）  
受 講 者：受講申込みのあった住居者 55 名  
授業題目：大阪・神戸地域の液化化危険度の予測と対策事例  
講 師：大島昭彦（大阪公立大学特任教授）

⑥実施日時：2024 年 3 月 7 日（木）8:45～12:30  
出 前 先：南松尾はつが野学園（大阪府和泉市）  
受 講 者：南松尾はつが野学園 4 年生 約 90 名（2 グループに分けて実施）  
授業題目：泥だんごを両手で体感科学  
講 師：水野克己（地域地盤環境研究所）

#### 「市民特別講演会」

題 目：大阪市西区 区民防災講演会 ～地域を知り、命を守る備えを～  
日 時：2024 年 1 月 27 日（土）10:00～12:00  
会 場：ハウスビルシステム西区民センター1F ホール  
講 演 題 目：大阪西区の地盤と自然災害／あなたを襲う災害への対応はできていますか？  
講 師：菅野耕三（大阪教育大学名誉教授）／片瀬範雄（神戸防災技術者の会）  
参加人数：約 80 名

#### 【4】表彰委員会

目 的 等：支部活動の活性化等を図るため、支部会員の地盤工学の学術・技術の向上・普及に  
貢献した活動を表彰する制度に対し、その選考を行う。

委 員 長：鍋島康之（明石工業高等専門学校）

委 員 数：7 名

開 催 回 数：1 回（委員会 1 回、ヒアリング・選考会 1 回）

#### 1. 3 総会・役員会等報告

##### 【1】総会

2023 年度支部通常総会

日 時：2023 年 4 月 26 日（水）17:00～18:00

会 場：ドーンセンター

参加者数：155名（出席者76名、委任状出席者79名）

【2】顧問懇談会

日 時：2024年1月24日(水) 11:00～12:00

会 場：対面（キャッスルホテル）とオンライン（Zoom）のハイブリッド

【3】商議員会

・第1回商議員会

日 時：2024年1月24日(水) 16:00～17:00

会 場：対面（キャッスルホテル）とオンライン（Zoom）のハイブリッド

・第2回商議員会

日 時：2024年4月26日(金) 14:00～15:30

会 場：ドーンセンター

【4】幹事会

開催回数：4回

【5】支部活性化WG

開催回数：4回

【6】代議員懇談会

日 時：2023年9月21日(金)15:00～16:30

会 場：対面（ドーンセンター）とオンライン（Zoom）のハイブリッド

【7】合同委員会

・第1回合同委員会

日 時：2023年6月19日(月)15:00～16:30

会 場：対面（エル大阪）とオンライン（Zoom）のハイブリッド

・第2回合同委員会

日 時：2024年1月24日(水)14:00～15:30

会 場：対面（キャッスルホテル）とオンライン（Zoom）のハイブリッド

## 2. 会員数の推移

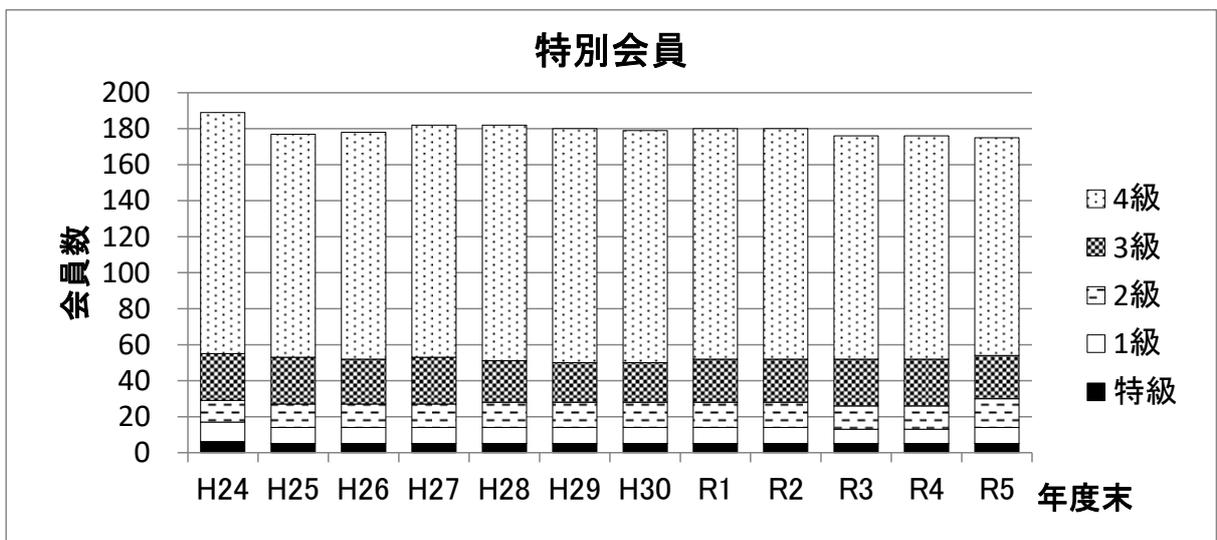
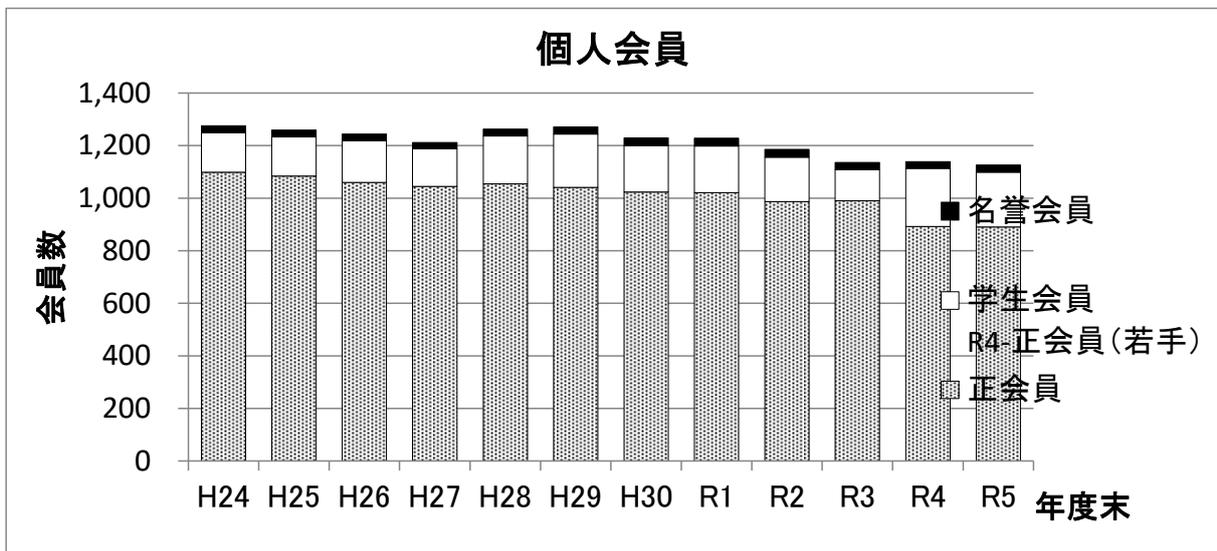
令和6年3月末現在の関西支部所属の名誉会員は27名、正会員は890名、正会員（若手）学生会員は209名、特別会員は175団体である。なお、関西支部所属の国際会員は特別会員11団体（内数）、個人会員135名（内数）である。支部の健全な発展のためには会員の増加は不可欠であり、今後とも個人会員、特別会員の増募についてご協力をお願いしたい。

（上段は2024年3月31日現在数、下段は2023年3月31日よりの増減）

	個人会員(名)				特別会員(団体)					
	名誉 会員	正 会員	正会員 (若手)	合計	特級	1級	2級	3級	4級	合計
北海道	8	334	89	431	0	1	5	5	55	66
	0	-13	-1	-14	0	0	0	0	1	1
東北	7	342	49	398	0	1	1	7	36	45
	0	-5	1	-4	0	1	0	0	3	4
北陸	8	232	41	281	0	0	1	5	54	60
	0	-11	4	-7	0	0	0	0	2	2
関東	80	2,845	543	3,468	11	14	13	36	238	312
	7	-10	-4	-7	8	0	2	1	1	12
中部	12	465	91	568	0	1	5	6	83	95
	0	2	4	6	0	0	1	-1	1	1
関西	27	890	209	1,126	5	9	16	24	121	175
	1	-2	-12	-13	0	1	3	-2	-3	-1
中国	7	360	91	458	0	2	2	3	43	50
	0	-9	11	2	0	0	0	0	1	1
四国	2	219	57	278	0	0	1	4	25	30
	1	-16	-10	-25	0	0	-1	1	-1	-1
九州	15	520	122	657	0	1	2	10	74	87
	0	-14	-4	-18	0	1	-1	-1	-1	-2
海外	19	34	1	54	0	0	0	0	0	0
	-1	0	0	-1	0	0	0	0	0	0
合計	185	6,241	1,293	7,719	16	29	46	100	729	920
	8	-78	-11	-81	8	3	4	-2	4	17

関西支部会員数の推移

年度末 現在	個人会員					特別会員							関西支部会員	
	正会員	学生会員 R4-正会員 (若手)	名誉会員	計	前年度 差	特級	1級	2級	3級	4級	計	前年度 差	合計	前年度 差
H24	1,099	150	27	1,276	▲ 55	6	11	12	26	134	189	▲ 11	1,465	▲ 66
H25	1,084	149	26	1,259	▲ 17	5	9	13	26	124	177	▲ 12	1,436	▲ 29
H26	1,060	159	25	1,244	▲ 15	5	9	13	25	126	178	1	1,422	▲ 14
H27	1,045	143	24	1,212	▲ 32	5	9	13	26	129	182	4	1,394	▲ 28
H28	1,055	182	26	1,263	51	5	9	14	23	131	182	0	1,445	51
H29	1,041	203	27	1,271	8	5	9	14	22	130	180	▲ 2	1,451	6
H30	1,024	176	29	1,229	▲ 42	5	9	14	22	129	179	▲ 1	1,408	▲ 43
R1	1,021	177	30	1,228	▲ 1	5	9	14	24	128	180	1	1,408	0
R2	987	169	29	1,185	▲ 43	5	9	14	24	128	180	0	1,365	▲ 43
R3	990	119	27	1,136	▲ 49	5	8	13	26	124	176	▲ 4	1,312	▲ 53
R4	892	221	26	1,139	▲ 46	5	8	13	26	124	176	▲ 4	1,315	▲ 50
R5	890	209	27	1,126	▲ 10	5	9	16	24	121	175	▲ 1	1,301	▲ 11



## 第2号議案 2023年度決算報告(案)

貸借対照表

公益目的事業会計(2024年 3月31日現在)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	570,712	208,267	362,445
未収金	0	680	△ 680
前払金	212,601	172,087	40,514
預け金	61,049,604	60,027,221	1,022,383
流動資産合計	61,832,917	60,408,255	1,424,662
2. 固定資産			
(3) その他固定資産			
土地	13,109,000	13,109,000	0
建物	2,687,277	3,229,905	△ 542,628
什器備品	758,132	1	758,131
その他固定資産合計	16,554,409	16,338,906	215,503
固定資産合計	16,554,409	16,338,906	215,503
資産合計	78,387,326	76,747,161	1,640,165
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	66,695	0	66,695
前受金	270,000	709,600	△ 439,600
支部預り金	0	18,392	△ 18,392
賞与引当金	80,000	53,298	26,702
流動負債合計	416,695	781,290	△ 364,595
負債合計	416,695	781,290	△ 364,595
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	77,970,631	75,965,871	2,004,760
正味財産合計	77,970,631	75,965,871	2,004,760
負債及び正味財産合計	78,387,326	76,747,161	1,640,165

## 財産目録

公益目的事業会計(2024年 3月31日現在)

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額	
(流動資産)	預金	振替貯金 その他 普通預金 三井住友銀行 天満 橋支店(普通)	運転資金として	406,181	
			運転資金として	406,181	
			運転資金として	164,531	
			運転資金として	164,531	
	前払金 その他 預け金	本部 特定資産(みずほ 3029370)		総会等会場費、火災保険	212,601
				総会等会場費、火災保険	212,601
流動資産合計				61,832,917	
(固定資産) その他固定資産	土地			13,109,000	
				13,109,000	
	建物				2,687,277
					29,726,000
	什器備品				758,132
					1,349,820
固定資産合計				16,554,409	
資産合計				78,387,326	
(流動負債)	未払金 令和5年度分 前受金		社会保険(健康保険・厚生年金)	66,695	
				66,695	
	その他 賞与引当金			令和6年度総会時懇親会費	270,000
					270,000
流動負債合計				416,695	
負債合計				416,695	
正味財産				77,970,631	

## 正味財産増減計算書

2023年 4月 1日から2024年 3月31日まで

公益目的事業会計(2024年 3月31日現在)

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
事業収益	760,000	1,159,000	△ 399,000
調査研究・基準事業収益	495,000	650,000	△ 155,000
シンポジウム収益	420,000	586,000	△ 166,000
見学会収益	47,500	40,500	7,000
若手セミナー収益	27,500	23,500	4,000
技術推進事業収益	265,000	509,000	△ 244,000
講習会収益	121,000	278,000	△ 157,000
実技セミナー収益	144,000	231,000	△ 87,000
受取助成金	709,600	290,400	419,200
受取民間助成金	709,600	290,400	419,200
その他	709,600	290,400	419,200
雑収益	336,063	73,444	262,619
受取利息	3	4	△ 1
その他	3	4	△ 1
雑収益	336,060	73,440	262,620
支部活動予算	10,360,000	10,170,000	190,000
経常収益計	12,165,663	11,692,844	472,819
(2) 経常費用			
事業費	10,160,902	10,463,233	△ 302,331
賞与引当金繰入額	80,000	53,298	26,702
臨時雇賃金	3,709,059	4,986,162	△ 1,277,103
法定福利費	473,857	820,935	△ 347,078
雇用保険	26,821	36,915	△ 10,094
労災保険	10,752	14,802	△ 4,050
健康保険	144,212	254,579	△ 110,367
介護保険	25,508	40,852	△ 15,344
厚生年金	266,564	473,787	△ 207,223
福利厚生費	3,172	12,813	△ 9,641
福利厚生費	3,172	12,813	△ 9,641
会議費	238,520	71,820	166,700
旅費交通費	124,944	83,450	41,494
通信運搬費	336,646	341,330	△ 4,684
減価償却費	787,817	542,628	245,189
建物	542,628	542,628	0
什器備品	245,189	0	245,189
消耗什器備品費	107,009	177,203	△ 70,194
修繕費	98,909	80,880	18,029
印刷製本費	142,120	154,893	△ 12,773
光熱水料費	167,658	199,284	△ 31,626
賃借料	787,672	418,425	369,247
会場使用料	707,274	292,372	414,902
保険料	57,648	52,974	4,674
諸謝金	902,730	666,770	235,960
委託費	330,000	319,000	11,000
支払手数料	114,965	89,848	25,117
雑費	990,902	1,099,148	△ 108,246
経常費用計	10,160,902	10,463,233	△ 302,331
評価損益等調整前当期経常増減額	2,004,761	1,229,611	775,150
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	2,004,761	1,229,611	775,150
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	1	0	1
什器備品除却損	1	0	1
経常外費用計	1	0	1
当期経常外増減額	△ 1	0	△ 1
当期一般正味財産増減額	2,004,760	1,229,611	775,149
一般正味財産期首残高	75,965,871	74,736,260	1,229,611
一般正味財産期末残高	77,970,631	75,965,871	2,004,760
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	77,970,631	75,965,871	2,004,760

2024年4月17日

公益社団法人 地盤工学会関西支部  
支部長 芥川真一 殿

公益社団法人 地盤工学会関西支部  
支部監事 片山 政和

公益社団法人 地盤工学会関西支部  
支部監事 進士 喜英

## 監査報告書

私たちは、2023年4月1日から2024年3月31日までの2023年度における会計および業務の監査を行い、次のとおり報告する。

### 1 監査方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を実施するとともに、収支計算書および貸借対照表等の計算書類につき検討を加えた。
- (2) 業務監査について、商議員会および幹事会等に出席して、幹事からの業務執行報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を実施することによって業務執行の妥当性を検討した。

### 2 監査意見

- (1) 2023年度支部会計の収支計算書および貸借対照表等は会計帳簿の記載金額と一致し、支部の収支状況および財産状態を正しく示していると認める。
- (2) 2023年度事業報告の内容は真実であると認める。
- (3) 役員職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する事実はないと認める。

以上

第3号議案 2024年度支部役員改選

(◎印 新任)

役職名	氏名	所属名	役職名	氏名	所属名
◎支部長	木村 博規	西松建設(株)	◎	伊藤 讓	摂南大学
副支部長	岸田 潔	京都大学	◎	江副 哲	(株)不動テトラ
◎	長谷川憲孝	神戸市港湾局	◎	大野 秀基	関西エアポート(株)
◎	田山 聡	西日本高速道路(株)	◎	加藤 亮輔	(株)日建設計
顧問	片瀬 貴文	元中央復建コンサルタンツ(株)	◎	譽田 孝宏	(株)地域地盤環境研究所
	西田 一彦	関西大学名誉教授	◎	白神新一郎	錦城護謨(株)
	平峯 悠	NPO法人 地域デザイン研究会	◎	竹山 智英	神戸大学
	松井 保	(一財)災害科学研究所理事長、大阪大学名誉教授	◎	戸田 伸親	清水建設(株)
	福井 實	元大手前大学	◎	新村 知也	大阪ガス(株)
	仙波 惇	いであ(株)技術顧問	◎	濱田 吉貞	西日本旅客鉄道(株)
	星野 鐘雄	NPO法人 地域デザイン研究会	◎	藤森 章記	奥村組土木興業(株)
	沖村 孝	(一財)建設工学研究所、神戸大学名誉教授	◎	山下 隆之	神戸市
	大西 有三	(一社)ドローン測量教育研究機構、京都大学名誉教授	◎	山下 剛	大成建設(株)
	古土井光昭	Port Engineering Network	◎幹事長	乾 徹	大阪大学
	嘉門 雅史	(一社)環境地盤工学研究所理事長、京都大学名誉教授	幹事	李 俊憲	(協組)関西地盤環境研究センター
	中島 裕之	元阪神高速技術(株)		宇佐美文博	前田工織(株)
	奥田 剛章	ニシキコンサルタント(株)		小瀬川奉久	(株)アサノ大成基礎エンジニアリング
	田中 泰雄	UTAR大学土木工学科教授、神戸大学名誉教授		澤村 康生	京都大学
	霜上 民生	(株)近畿地域づくりセンター		関川 洋介	阪神高速道路(株)
	岡 二三生	京都大学名誉教授		宗 哲仁	大阪ガス(株)
	松田 好史	西日本旅客鉄道(株)		高木 敦生	ライト工業(株)
	池内 幸司	(一財)河川情報センター、東京大学名誉教授		中島 晃司	近畿大学
	谷本 光司	(一財)近畿建設協会		長倉 健	日本エ管(株)
	内田 一徳	神戸大学名誉教授		藤本 明宏	福井大学
	橋本 正	(株)地域地盤環境研究所		前田 壮亮	(株)竹中土木
	竹内 廣行	(一社)大阪府港湾協会		渡邊 聡	復建調査設計(株)
	楠見 晴重	関西大学		岩井 裕正	京都大学
	南荘 淳	川田工業(株)		長田友里恵	ケミカルグラウト(株)
	豊田 巖	元神戸市みなと総局		河田 晃靖	東洋建設(株)
	大島 昭彦	大阪公立大学		木村 裕貴	中央復建コンサルタンツ(株)
東原 純	中央開発(株)		後藤 浩司	阪神電気鉄道(株)	
東川 直正	2025年日本国際博覧会協会		小柳 勇也	錦城護謨(株)	
◎	芥川 真一	神戸大学		西吉 永一	竹中工務店
支部監事	進士 喜英	川崎地質(株)		藤本 哲生	大阪工業大学
◎	皿海 章雄	清水建設(株)		村田 淳	鹿島建設(株)
商議員	秋山 真吾	鹿島建設(株)		山形 真央	兵庫県
	上月 健司	(株)大林組	◎	伊藤 真一	立命館大学
	今村 雅弘	中央開発(株)	◎	大藪 剛士	応用地質(株)
	後藤 浩之	京都大学	◎	加茂由紀彦	八千代エンジニアリング(株)
	澤田 豊	神戸大学	◎	木村 孔紀	西松建設(株)
	志賀 直樹	国際航業(株)	◎	菅 章悟	(株)不動テトラ
	鶴窪 誠司	(株)竹中土木	◎	園田 悠介	神戸大学
	鍋島 寛之	大阪市高速電気軌道(株)	◎	財田 一真	大阪府
	中嶋 勲雄	応用地質(株)	◎	利根穂志美	川崎地質(株)
	中野 尊之	中央復建コンサルタンツ(株)	◎	久田 裕史	西日本高速道路(株)
	中山 義久	(協組)関西地盤環境研究センター	◎	保科 友宏	清水建設(株)
	三谷 和之	日本製鉄(株)	◎	水野 智亮	大成建設(株)
	吉川 智勝	(株)建設技術研究所	◎	山内 雅基	(株)地域地盤環境研究所

## 報告事項 1. 2024 年度事業計画

### 1. 1 一般行事

#### 【1】講演会

講演会は、令和 6 年 4 月 26 日（金）に総会時特別講演会として開催する。講師は芥川 真一 令和 5 年度支部長の予定である。

#### 【2】報告会

「令和 6 年度施工技術報告会」を、(一社)日本建設機械施工協会関西支部、(一社)日本建設業連合会関西支部、(公社)土木学会関西支部との共催により開催する予定である。

#### 【3】講習会

令和 5 年度の「地盤工学のためのデータサイエンス基礎講座」に引き続き、令和 6 年度も新規の講習会を 1 回開催予定で検討中である。

#### 【4】若手セミナー

令和 2 年度より、若手技術者の「基礎知識の習得」・「技術継承」・「人脈形成」の場となるよう、現役またはベテラン技術者を講師としてお招きした、双方向・多方向型の講義形式に変更しており、令和 6 年度も継続して 1 回実施する予定である。

#### 【5】見学会

関西圏の大型土木事業で支部会員の関心が高い工事現場の見学会を年 1 回、対面で実施する予定である。

#### 【6】実技セミナー

講義、実習を通じて、地盤に関わる業務の中で用いられる試験方法や計測方法などの重要性の理解促進を目的とし、年 1 回実施する予定である。

#### 【7】シンポジウム

昨年度に引き続き、地下水地盤環境に関する研究協議会との共催で「Kansai Geo-Symposium 2024ー地下水地盤環境・防災・計測技術に関するシンポジウムー」を開催する予定である。なお、本シンポジウムの投稿論文のうち、優れた技術あるいは研究成果、有意性を有する論文／報告については、関西支部賞の受賞対象として推薦する。

### 1. 2 研究委員会・研究会

#### 【1】研究委員会

##### ① 夢洲の地盤性状と沈下性状に関する研究委員会（2021～）

委員長：大島昭彦（大阪公立大学）

大阪ベイエリアに位置する夢洲は、都市域へのアクセスにも優れた関西地区の重要な土地資源であり、大阪万博や統合型リゾートの用地として今後建設事業の増加が見込まれている。一方で、夢洲は浚

渾土、建設発生土及び廃棄物で造成された人工島であるため極めて複雑な地盤構造であり、様々な工学的課題を有している。例えば、地盤構造の不均質性や下部洪積層の沈下等の問題は、今後の各種構造物の設計や施工に大きく影響するものであることから、迅速かつ確実に事業を実施するためにも、産学官の知識と技術を集結し早急に解決する必要がある。そこで本委員会では、産学官で横断的にメンバーを募集し、上記事業の円滑な実施の一助となるべく、過去の埋立て履歴、既存データの整理、地盤構造のモデル化、及び今後の沈下予測等を行う。

本研究委員会では、1) 過去の埋立て履歴や既存データの整理、2) 現場試験の実施と評価、3) 地盤構造のモデル化、4) 地盤情報に基づく沈下予測、5) 各種講演会、見学会の開催、シンポジウム等での研究成果の発信、等を行う。

## ② 斜面災害リスク軽減のための 4D 多層型ハザードマップの構築とその利活用方法に関する研究委員会 (2022～)

委員長：鳥居宣之（神戸市立工業高等専門学校）

全国に数十万箇所あるとされる危険斜面は、そのどれもが近年の豪雨や地震によって不安定化し、未曾有の災害を起こしかねないという危険を孕んでいる。これまで、これらの斜面災害軽減のために、「ハード対策」と「ソフト対策」が進められてきたが、毎年のように斜面災害による人的被害が発生している。このような問題の解決を目指して、地盤工学会関西支部では、斜面動態モニタリングに基づく斜面安定性評価研究委員会（委員長：深川良一・立命館大学 教授，2014～2017 年度），斜面災害のリスク低減に関する研究委員会（委員長：芥川真一・神戸大学 教授，2018～2021 年度）で、産官学の技術者・研究者が結集し、議論を進めてきた。これらの委員会活動の中で、斜面災害リスクを低減するためには、災害が差し迫った際のみならず、日々の斜面モニタリング結果やそれらに基づく斜面危険度の変化傾向など、災害発生直前だけでなく日常における斜面危険度の時空間的变化情報を盛り込んだハザードマップを構築するとともに、それらを活用するための仕組みのあり方を検討する必要があることが提案されてきた。その提案を実行する形で、斜面災害リスク軽減のための新たなハザードマップとしての「4D 多層型ハザードマップ」の構築とその利活用方法について研究するための研究委員会を立ち上げる。

本研究委員会では、1) マップに掲載する現地計測データの検討と収集（Keywords：モニタリング技術，データマイニング，IoT など），2) 計測データやシミュレーション結果に基づく斜面危険度評価方法の検討（Keywords：モニタリング，シミュレーション技術，斜面危険度評価手法，AI など），3) マップの利活用・教育・普及方法の検討（Keywords：情報発信技術，防災教育，市民参加型モニタリング など）について最新の情報を共有し，実践を交えた研究活動を行うことを目指す。

### 【2】地域地盤研究会

#### ①福井地域地盤研究会 委員長：荒井克彦（NPO 福井地域地盤防災研究所）

福井地域地盤研究会主催の講演会，講習会，若手技術者交流会などを3回程度実施する。

#### ②和歌山地域地盤研究会 委員長：江種伸之（和歌山大学）

和歌山地域の災害調査等を必要に応じて実施する。

#### ③滋賀地域地盤研究会 委員長：深川良一（立命館大学）

下記の行事を実施する予定である。滋賀地盤講演会および定例勉強会に関しては，滋賀県や地質調査業会滋賀県支部との連携を強化していく。

1) 定例勉強会：2回

2) 滋賀地盤講演会：1回

### 3) 見学会：10月あるいは11月

#### 【3】地盤工学広報企画委員会 委員長：野並 賢（神戸市立工業高等専門学校）

地盤工学広報企画委員会は、一般市民の方々や小中高校生を対象とした行事を開催し、地盤工学に関する関心を高めてもらう活動を行っており、委員会は年4回開催予定である。令和6年度は、「学生対象見学会」を3回、「ふるさと地盤診断ウォーク」を秋期に2回、「一般市民対象特別講演会」を1回、小・中・高校生・一般市民の方々を対象にした出前授業を5回（オンライン出前授業を含む）予定している。一般市民対象特別講演会は、各自治体で実施されている市民講演会を共催する形で開催する予定である。また、リーフレット改訂、およびWEB等の整備を通して多くの方々への広報を図っていく予定である。

## 1.3 総会・役員会等計画

### 【1】総会

令和6年度通常総会を以下の要領で開催する。

日 時：令和6年4月26日（金） 16：00～18：00

会 場：ドーンセンター7Fホール（大阪市中央区大手前1丁目3-49 電話：06-6910-8500）

特別講演：16：00～16：50

総 会：17：00～18：00

### 【2】顧問懇談会

開催回数：1回

### 【3】商議員会

開催回数：2回

### 【4】幹事会

開催回数：4回

### 【5】支部活性化ワーキング

開催回数：4回

### 【6】代議員懇談会

開催回数：1回（関西支部選出の代議員と意見交換を図るため幹事会と合わせて実施する）

### 【7】合同委員会

開催回数：2回（研究委員会・研究会との意見交換を図るため幹事会と合わせて実施する）

### 【8】表彰委員会

開催回数：1回

## 報告事項2. 2024年度 正味財産増減予算書

令和 6年 4月 1日から令和 7年 3月31日まで

関西支部

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計				合計
	公2	公3	公4	小計	
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
事業収益	825,000	375,000	0	1,200,000	1,200,000
調査研究・基準事業収益	825,000	0	0	825,000	825,000
技術推進事業収益	0	375,000	0	375,000	375,000
雑収益計	1,179,200	160,800	0	1,340,000	1,340,000
雑収益	1,179,200	160,800	0	1,340,000	1,340,000
経常収益計	2,004,200	535,800	0	2,540,000	2,540,000
(2) 経常費用					
事業費	11,152,880	1,469,120	100,000	12,722,000	12,722,000
賞与引当金繰入額	70,400	9,600	0	80,000	80,000
臨時雇賃金	3,168,000	432,000	0	3,600,000	3,600,000
法定福利費	396,000	54,000	0	450,000	450,000
福利厚生費	13,200	1,800	0	15,000	15,000
会議費	450,560	61,440	0	512,000	512,000
旅費交通費	301,400	19,600	10,000	331,000	331,000
通信運搬費	411,000	53,000	0	464,000	464,000
減価償却費	792,000	108,000	0	900,000	900,000
消耗什器備品費	132,000	18,000	0	150,000	150,000
修繕費	71,280	9,720	0	81,000	81,000
印刷製本費	357,200	16,800	0	374,000	374,000
光熱水料費	176,000	24,000	0	200,000	200,000
賃借料	534,000	66,000	0	600,000	600,000
会場使用料	790,000	136,000	40,000	966,000	966,000
保険料	44,000	3,000	0	47,000	47,000
諸謝金	868,000	143,000	0	1,011,000	1,011,000
支払手数料	79,200	25,800	0	105,000	105,000
諸会費	5,000	0	0	5,000	5,000
雑費	2,493,640	287,360	50,000	2,831,000	2,831,000
経常費用計	11,152,880	1,469,120	100,000	12,722,000	12,722,000
評価損益等調整前当期経常増減額	▲ 9,148,680	▲ 933,320	▲ 100,000	▲ 10,182,000	▲ 10,182,000
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	▲ 9,148,680	▲ 933,320	▲ 100,000	▲ 10,182,000	▲ 10,182,000
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	▲ 9,148,680	▲ 933,320	▲ 100,000	▲ 10,182,000	▲ 10,182,000
当期一般正味財産増減額	▲ 9,148,680	▲ 933,320	▲ 100,000	▲ 10,182,000	▲ 10,182,000
一般正味財産期首残高	0	0	0	0	0
一般正味財産期末残高	▲ 9,148,680	▲ 933,320	▲ 100,000	▲ 10,182,000	▲ 10,182,000
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	▲ 9,148,680	▲ 933,320	▲ 100,000	▲ 10,182,000	▲ 10,182,000

資 料

1. 地盤工学会関西支部 歴代支部長・副支部長・幹事長名簿

年度	支部長	副支部長		幹事長
昭和33	光井 三郎	塚本 猛次	村山 朔郎	松尾新一郎
34	三宅静太郎	稲垣 皎三	木下 真治	松尾新一郎
35	玉井 正彰	久保田敬一	中出 定夫	松尾新一郎
36	棚橋 諒	河村 重俊	近藤市三郎	松尾新一郎
37	石田 一郎	松尾新一郎	川上 敏夫	伊藤 富雄
38	村山 朔郎	菅田 豊重	福山真三郎	伊藤 富雄
39	今岡 鶴吉	小泉 昇	沢田 敏男	伊藤 富雄
40	畠山 實	西尾 辰雄	谷口 尚武	伊藤 富雄
41	調 強	谷口 尚武	伊藤 富雄	三笠 正人
42	森田 紀元	伊藤 富雄	後藤 典夫	三笠 正人
43	松尾新一郎	小泉 昇	近藤 和夫	三笠 正人
44	橋 好茂	近藤 和夫	中谷 三男	畠 昭治郎
45	横尾 義貫	中谷 三男	加納 次郎	畠 昭治郎
46	伊藤 富雄	加納 次郎	平田 定夫	畠 昭治郎
47	南 俊次	平田 定夫	芳内 俊夫	赤井 浩一
48	近藤 和夫	芳内 俊夫	長田 正雄	赤井 浩一
49	沢田 敏男	長田 正雄	高村 靖	山肩 邦男
50	谷口 尚武	高村 靖	鳥海 勲	山肩 邦男
51	田中 茂	鳥海 勲	藤田 正和	三瀬 貞
52	芳内 俊夫	藤田 正和	加藤 克己	三瀬 貞
53	加納 次郎	加藤 克己	谷本 喜一	柴田 徹
54	三露 嘉郎	谷本 喜一	竹山 喬	柴田 徹
55	三笠 正人	竹山 喬	山肩 邦男	西田 一彦
56	中谷 三男	山肩 邦男	中山 武宜	西田 一彦
57	谷本 喜一	中山 武宜	中堀 和英	佐々木 伸
58	赤井 浩一	中堀 和英	中井喜一郎	佐々木 伸
59	三瀬 貞	中井喜一郎	柴田 徹	足立 紀尚
60	高村 靖	柴田 徹	津垣 昭夫	足立 紀尚
61	山肩 邦男	津垣 昭夫	前田 進	福田 護
62	柴田 徹	前田 進	福井 實	福田 護
63	片瀬 貴文	福井 實	平田 武弘	松井 保
平成 1	竹山 喬	平田 武弘	澁谷平八郎	松井 保
2	阪口 理	澁谷平八郎	西田 一彦	長谷川高士
3	津垣 昭夫	西田 一彦	宮永 清一	長谷川高士
4	佐々木 伸	宮永 清一	福住 隆二	軽部 大蔵
5	中山 武宜	福住 隆二	平峯 悠	軽部 大蔵
6	中堀 和英	平峯 悠	足立 紀尚	澤 孝平
7	西田 一彦	足立 紀尚	西垣 好彦	澤 孝平
8	足立 紀尚	西垣 好彦	来馬 章雄	沖村 孝
9	平峯 悠	来馬 章雄	福田 護	沖村 孝
10	松井 保	福田 護	田宮 芳彦	大西 有三
11	福井 實	木山 正明	衣斐 隆志	大西 有三
12	軽部 大蔵	衣斐 隆志	福本 武明	佐藤 忠信
13	仙波 惇	竹山 征治	岩崎 好規	佐藤 忠信
14	星野 鐘雄	岩崎 好規	澤 孝平	田中 泰雄
15	沖村 孝	小河 保之	井上 啓司	田中 泰雄
16	大西 有三	井上 啓司	佐藤 忠信	岡 二三生
17	古土井光昭	武田 弘一	嘉門 雅史	岡 二三生
18	嘉門 雅史	松尾 節夫	青山 咸康	楠見 晴重
19	中島 裕之	青山 咸康	伊藤 文平	楠見 晴重
20	奥田 剛章	橋本 正	田中 泰雄	大津 宏康
21	田中 泰雄	井上 章	霜上 民生	大津 宏康
22	霜上 民生	常田 賢一	松田 好史	澁谷 啓
23	岡 二三生	松田 好史	神原敏夫/安倍 茂	澁谷 啓
24	松田 好史	深川 良一	河本克正/末廣正人	勝見 武
25	谷本光司/池内幸司	末廣 正人	豊田 巖	勝見 武
26	内田 一徳	三田村宗樹	三田村宗樹	大島 昭彦
27	橋本 正	木戸 洋二	木戸 洋二	大島 昭彦
28	竹内 廣行	伊藤 淳志	徳平 隆之	芥川 真一
29	楠見 晴重	辻 俊一	吉井 真	芥川 真一
30	南荘 淳	辻 俊一	吉井 真	小林 晃
令和 1	豊田 巖	伊藤 謙	木村 博規	渦岡 良介
2	大島 昭彦	木村 博規	藪内 弘	渦岡 良介
3	束原 純	小田 和広	西森 正至	河井 克之
4	東川 直正	西森 正至	庄 健介	河井 克之
5	芥川 真一	鍋島 康之	田中 利光	河井 克之
		田中 利光	中西 典明	乾 徹

## 2. 2023年度支部役員名簿

(◎印 新任)

役職名	氏名	所属名	役職名	氏名	所属名	
◎支部長	芥川 真一	神戸大学	◎	今村 雅弘	中央開発(株)	
副支部長	田中 利光	阪神国際港湾(株)	◎	後藤 浩之	京都大学	
	中西 典明	(一財)建設工学研究所	◎	澤田 豊	神戸大学	
◎	岸田 潔	京都大学	◎	志賀 直樹	国際航業(株)	
顧問	片瀬 貴文	元中央復建コンサルタンツ(株)	◎	鶴窪 誠司	(株)竹中土木	
	西田 一彦	関西大学名誉教授	◎	鍋島 寛之	大阪市高速電気軌道(株)	
	平峯 悠	NPO法人 地域デザイン研究会	◎	中嶋 勲雄	応用地質(株)	
	松井 保	(一財)災害科学研究所理事長、大阪大学名誉教授	◎	中野 尊之	中央復建コンサルタンツ(株)	
	福井 實	元大手前大学	◎	中山 義久	(協組)関西地盤環境研究センター	
	仙波 惇	いであ(株)技術顧問	◎	三谷 和之	日本製鉄(株)	
	星野 鐘雄	NPO法人 地域デザイン研究会	◎	吉川 智勝	(株)建設技術研究所	
	沖村 孝	(一財)建設工学研究所、神戸大学名誉教授	◎幹事長	乾 徹	大阪大学	
	大西 有三	(一社)ドローン測量教育研究機構、京都大学名誉教授	幹事	稲垣 祐輔	(株)地域地盤環境研究所	
	古土井光昭	Port Engineering Network		宇都宮福敬	大阪府	
	嘉門 雅史	(一社)環境地盤工学研究所理事長、京都大学名誉教授		榎本 裕輔	(株)オーク	
	中島 裕之	元阪神高速技術(株)		景山 健	基礎地盤コンサルタンツ(株)	
	奥田 剛章	ニシキコンサルタント(株)		白田隆一郎	清水建設(株)	
	田中 泰雄	UTAR大学土木工学科教授、神戸大学名誉教授		鈴木麻里子	神戸大学	
	霜上 民生	(株)近畿地域づくりセンター		辻 利徳	(株)大林組	
	岡 二三生	京都大学名誉教授		寺本俊太郎	摂南大学	
	松田 好史	西日本旅客鉄道(株)		戸島 綾一	関西地盤テクノ(株)	
	池内 幸司	(一財)河川情報センター、東京大学名誉教授		廣瀬 剛	奥村組土木興業(株)	
	谷本 光司	(一財)近畿建設協会		松永 英郁	西松建設(株)	
	内田 一徳	神戸大学名誉教授		増満 岳也	(株)ニュージェック	
橋本 正	(株)地域 地盤 環境 研究所		三宅 麻人	大成建設(株)		
竹内 廣行	(一社)大阪府港湾協会		矢羽田寛治	国土交通省		
楠見 晴重	関西大学		李 俊憲	(協組)関西地盤環境研究センター		
南荘 淳	川田工業(株)		宇佐美文博	前田工織(株)		
豊田 巖	元神戸市みなと総局		小瀬川泰久	(株)アサノ大成基礎エンジニアリング		
大島 昭彦	大阪公立大学		澤村 康生	京都大学		
東原 純	中央開発(株)		関川 洋介	阪神高速道路(株)		
◎	東川 直正	2025年日本国際博覧会協会	◎	宗 哲仁	大阪ガス(株)	
支部監事	片山 政和	(株)日建設計		高木 敦生	ライト工業(株)	
◎	進士 喜英	川崎地質(株)		中島 晃司	近畿大学	
商議員	伊藤 譲	摂南大学		長倉 健	日本工営(株)	
	上田 恭平	京都大学		藤本 明宏	福井大学	
	大野 秀基	関西エアポート(株)		前田 壮亮	(株)竹中土木	
	譽田 孝宏	(株)地域地盤環境研究所		渡邊 聡	復建調査設計(株)	
	皿海 章雄	清水建設(株)	◎	岩井 裕正	京都大学	
	白神新一郎	錦城護謨(株)	◎	長田友里恵	ケミカルグラウト(株)	
	田中 克実	(株)不動産トラ	◎	河田 晃靖	東洋建設(株)	
	新村 知也	大阪ガス(株)	◎	木村 裕貴	中央復建コンサルタンツ(株)	
	濱田 吉貞	西日本旅客鉄道(株)	◎	後藤 浩司	阪神電気鉄道(株)	
	久利 良夫	近畿大学	◎	小柳 勇也	錦城護謨(株)	
	宮川 一郎	神戸市	◎	坂井 昭	大阪市	
	茂呂 拓実	阪神高速道路(株)	◎	中山 宏樹	兵庫県	
	山下 剛	大成建設(株)	◎	西吉 永一	竹中工務店	
	◎	秋山 真吾	鹿島建設(株)	◎	藤本 哲生	大阪工業大学
	◎	上月 健司	(株)大林組	◎	村田 淳	鹿島建設(株)

### 3. 特別会員特典

(\*)：等級別の詳細は下記の等級による特典の一覧表参照

#### <技術・知識・情報の収集>

1. 学会誌「地盤工学会誌」が、会員から納入された会費（購読料を含む）により、毎号、作成・配布されます。
2. 「地盤工学ジャーナル」の配信を受けることができます。
3. メールマガジンにより常に最新の情報が得られます。
4. 本会発行図書等を会員特価でお求めいただけます。
5. 地盤工学に関するビデオテープ等の貸出しを受けられます。
6. 地盤工学研究発表会、講習会、講演会、見学会等に会員割引で参加できます(\*)。
7. 図書室の無料閲覧、資料のコピー（有料）ができます。

#### <学会活動への参加・交流等>

1. 委員会に委員として参加する資格が得られます。
2. 国際会員になる資格が得られます。
3. 地盤工学研究発表会等催し会場でパンフレットの配布ができます。
4. 特別会員ホームページと学会ホームページのリンクができます。
5. 特別会員のイベント情報等を学会のホームページに掲載できます。
6. 学会誌「地盤工学会誌」特別会員 PR ページへ無料掲載できます（2分の1ページ）。
7. 会員職場内での研修活動を CPD プログラムとして認定します。
8. 「G-CPD メンバー」への登録ができます(\*)。
9. 教育的配慮から、特別会員に所属する学生に限り、次の特典があります(\*)。
  - ① 地盤工学研究発表会（全国大会）で論文発表ができます。
  - ② 学会誌「地盤工学会誌」に投稿できます。
  - ③ 「地盤工学ジャーナル」に投稿できます。

#### <その他>

1. 学会施設（会議室）を利用（有料）できます。
2. 関西支部主催行事等の会場でパンフレットの展示・配布ができます。

#### (\*)【等級による特典の一覧】

	特級	1級	2級	3級	4級
講習会等行事に会員会費で参加できる人数	21人	15人	9人	6人	3人
「G-CPD メンバー」として登録できる人数	21人	15人	9人	6人	3人
学生が地盤工学研究発表会で論文発表できる人数	21人	15人	9人	6人	3人
学生が学会誌「地盤工学会誌」に投稿できる人数	21人	15人	9人	6人	3人
学生が「地盤工学ジャーナル」に投稿できる人数	21人	15人	9人	6人	3人

#### 「G-CPD メンバー」

1. 個人会員以外の方も「G-CPD メンバー」として登録いただき、地盤工学会継続教育システム（G-CPD システム）を利用いただけます。
2. 特に「特別会員になられている法人に勤務されている方あるいは大学に所属されている方（学生を含む）」は、「G-CPD メンバー」の初年度費用 1000 円のみで登録できる優遇措置があります(\*)。

登録費用	特別会員
初年度	1000 円/年
次年度以降	無料

#### 4. 関西支部特別会員名簿（団体）

2024年3月31日 現在

##### 【特級5団体】

団体名

---

株式会社大林組  
鹿島建設株式会社関西支店  
株式会社鴻池組  
国土交通省近畿地方整備局  
大成建設株式会社関西支店

---

##### 【1級9団体】

団体名

---

株式会社浅沼組  
株式会社奥村組  
五洋建設株式会社大阪支店  
株式会社竹中土木大阪本店  
中央復建コンサルタンツ株式会社  
西松建設株式会社西日本支社関西支店  
株式会社日建設計  
株式会社不動テトラ大阪支店  
前田建設工業株式会社関西支店

---

##### 【2級16団体】

団体名

---

株式会社大阪防水建設社  
奥村組土木興業株式会社  
関西エアポート株式会社  
株式会社建設技術研究所大阪本社  
清水建設株式会社関西支店  
新関西国際空港株式会社  
大幸工業株式会社  
大鉄工業株式会社  
中央開発株式会社関西支社  
東急建設株式会社関西支店  
東洋建設株式会社鳴尾研究所  
戸田建設株式会社大阪支店  
株式会社ニュージェック  
兵庫県  
株式会社マルイ  
村本建設株式会社

---

##### 【3級24団体】

団体名

---

大阪ガス株式会社  
大阪市高速電気軌道株式会社  
川崎地質株式会社西日本支社

協同組合関西地盤環境研究センター  
株式会社KANSOテクノス  
基礎地盤コンサルタンツ株式会社関西支社  
京都大学大学院工学研究科都市基盤システム工学・土木施工システム工学  
京都大学大学院農学研究科地域環境科学専攻施設機能工学研究室  
株式会社近畿地域づくりセンター  
国土交通省近畿地方整備局港湾空港部  
一般財団法人GRI財団  
ジェイアール西日本コンサルタンツ株式会社  
大成機工株式会社  
大和ハウス工業株式会社総合技術研究所  
株式会社竹中工務店大阪本店  
西日本高速道路株式会社  
西日本高速道路株式会社関西支社  
西日本旅客鉄道株式会社  
日本海工株式会社  
阪神高速技術株式会社  
丸五基礎工業株式会社  
株式会社マルシン  
三井住友建設株式会社大阪支店  
株式会社吉田組土木本部

---

#### 【4級121団体】

団体名

---

株式会社アーステック東洋  
あおみ建設株式会社  
株式会社浅川組  
株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング関西支社  
株式会社アテック吉村  
株式会社新井組 土木本部  
株式会社エース  
株式会社エステック  
株式会社エヌイーエス  
NTTインフラネット株式会社関西事業部  
応用地質株式会社関西事務所  
株式会社OSW  
大阪公立大学地盤工学研究室  
大阪大学大学院工学研究科社会基盤工学部門地盤工学領域  
大阪湾広域臨海環境整備センター  
株式会社オキココーポレーション  
カネカケンテック株式会社  
株式会社かんこう  
関西大学環境都市工学部  
関西大学地盤環境工学研究室（楠見研究室）  
キタイ設計株式会社  
京都市  
京都大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻地盤力学研究室  
京都大学大学院工学研究科都市社会工学専攻座ジオフロントシステム工学分野

京都大学大学院地球環境学堂  
京都大学防災研究所地震災害研究部門耐震基礎研究分野  
京都大学防災研究所地盤災害研究部門・地盤防災解析研究分野  
協和設計株式会社  
株式会社共和電業大阪営業所  
一般社団法人近畿建設協会  
株式会社キンキ地質センター  
錦城護謨株式会社  
株式会社近代技研  
株式会社熊谷組関西支店  
ケイコン株式会社  
株式会社KGS  
計測技研株式会社  
計測テクノ株式会社  
ケミカルグラウト株式会社西日本支社関西支店  
神戸市建設局  
神戸市港湾局  
神戸市道路公社  
神戸市都市局西神整備事務所  
株式会社こうべ未来都市機構  
国土交通省近畿地方整備局紀南河川国道工事事務所  
国土交通省近畿地方整備局京都国道事務所  
国土交通省近畿地方整備局神戸港湾空港技術調査事務所  
国土交通省近畿地方整備局滋賀国道事務所  
国土交通省近畿地方整備局豊岡河川国道事務所  
国土交通省近畿地方整備局兵庫国道事務所  
国土交通省近畿地方整備局福知山河川国道事務所  
国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所  
国土防災技術株式会社大阪支店  
サンコーコンサルタント株式会社大阪支店  
サンスイコンサルタント株式会社  
株式会社ジオシステム  
株式会社ジオブレーン  
芝田土質株式会社  
株式会社地盤調査事務所大阪事務所  
株式会社修成建設コンサルタント  
株式会社昭和設計  
株式会社白浜試錐  
新生重機建設株式会社  
正和設計株式会社  
株式会社セーフティーアイランド  
全日本コンサルタント株式会社  
株式会社ソイルテクニカ大阪営業所  
総合計測株式会社  
株式会社ダイカ  
大日本ダイヤコンサルタント株式会社関西支社  
太洋エンジニアリング株式会社  
株式会社田中  
株式会社地域地盤環境研究所

地球観測株式会社  
株式会社中研コンサルタント  
鉄建建設株式会社大阪支店  
株式会社テノックス大阪営業所  
東亜建設工業株式会社大阪支店  
株式会社東京ソイルリサーチ関西支店  
株式会社東京測器研究所大阪営業所  
株式会社東畑建築事務所  
東洋技研コンサルタント株式会社  
内外エンジニアリング株式会社  
中林建設株式会社  
株式会社中堀ソイルコーナー  
西日本高速道路エンジニアリング関西株式会社  
株式会社西山工務店  
株式会社日建技術コンサルタント  
日特建設株式会社大阪支店  
日本製鉄株式会社大阪支社  
日本基礎技術株式会社関西支店  
日本交通技術株式会社  
日本コンクリート工業株式会社大阪支店  
ハイテック株式会社  
ハウス技研通商株式会社  
パシフィックコンサルタンツ株式会社大阪本社  
播磨地質開発株式会社  
阪急設計コンサルタント株式会社  
阪急電鉄株式会社  
阪神高速技研株式会社  
一般財団法人阪神高速先進技術研究所  
阪神高速道路株式会社  
阪神国際港湾株式会社  
株式会社阪神コンサルタンツ  
阪神水道企業団  
公益財団法人兵庫県まちづくり技術センター  
株式会社フジタ大阪支店  
復建調査設計株式会社大阪支社  
平成テクノス株式会社  
報国エンジニアリング株式会社  
本州四国連絡高速道路株式会社  
前田工織株式会社  
株式会社松村組  
丸泰土木株式会社大阪営業所  
株式会社森組  
株式会社森本組  
株式会社安井建築設計事務所  
株式会社山崎砂利商店  
株式会社ヨコタテック  
ライト工業株式会社西日本支社  
若築建設株式会社大阪支店

---